

LOW CONCENTRATION PCB

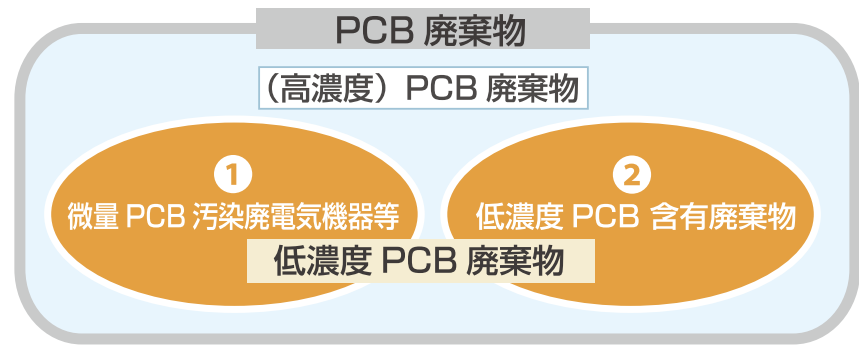
低濃度 PCB 処理のご案内

Processing of the waste and the product which contained PCB in low concentration

低濃度 PCB 廃棄物とは

電気機器等に非意図的に PCB が混入した微量 PCB 汚染物と、PCB 濃度が 5,000mg/kg 以下の低濃度 PCB 含有廃棄物とを合わせて、低濃度 PCB 廃棄物と総称されています。

	(高濃度) PCB 廃棄物	低濃度 PCB 廃棄物
定義	PCB を使用した電気機器廃棄物 ・一般的にコンデンサは PCB 濃度概ね 100% ・一般的にトランスは PCB 濃度概ね 60%	・微量 PCB 汚染廃電気機器等 ：非意図的に PCB が混入した廃棄物 ・低濃度 PCB 含有廃棄物 ：PCB 濃度が 5,000mg/kg 以下の廃棄物
処理先	日本環境安全事業 (株) (JESCO)	無害化処理認定施設 PCB に関する特別管理産業廃棄物処理の許可施設



背景

- 昭和 43 年 カネミ油症事件発生 → PCB の毒性が社会問題化
- 昭和 47 年 通産省通達により PCB の製造・販売の禁止
- 平成 13 年 「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」(PCB 特措法) の制定
→ 平成 28 年までの処理完了を義務付け
- 平成 14 年 微量 PCB 汚染絶縁油の存在が判明
- 平成 16 年 高濃度 PCB 廃棄物の処理開始
- 平成 17 年 環境省が微量 PCB 廃棄物の焼却実証試験を開始
- 平成 22 年 廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) の改正
→ 微量 PCB 廃棄物処理施設の無害化認定制度制定
- 平成 24 年 PCB 特措法施工令の一部改正
→ 処理期限が平成 39 年までに延長
- 平成 28 年 PCB 特措法施行令の一部改正
→ 高濃度 PCB 廃棄物の処理期限が平成 30~35 年に短縮

DOWA グループ 低濃度 PCB 廃棄物の処理拠点

エコシステム小坂

対象物 橋梁塗膜
汚染物
処理温度 850℃
処理能力 11.52t/日
平成 26 年 12 月 大臣認定取得

エコシステム秋田 (1 号炉)

対象物 絶縁油、汚染物、
処理物
処理温度 850℃
処理能力 絶縁油：8.4kl/日
汚染物・処理物：6.1t/日
平成 27 年 1 月 大臣認定取得

エコシステム秋田 (新炉)

20t までの大型機器も受入可能

対象物 絶縁油、電気機器、
汚染物、処理物
処理温度 850℃
処理能力 絶縁油：3.1kl/日
電気機器他：6.1t/日
平成 28 年 3 月 大臣認定取得

受入仕様 サイズ：5m×3m×高さ 3.5m
重量：20t まで

前処理設備 (移液・解体・小分け) → ハッチ式焼却炉 → 排ガス (無害化) 処理

光和精鉱

対象物 絶縁油、電気機器、
汚染物
処理温度 850℃
処理能力 絶縁油：24kl/日
電気機器：28.5t/日
汚染物：10t/日
平成 27 年 3 月 大臣認定取得

連続炉による低コストで安全な処理

対象物 電気機器、汚染物、
処理物、絶縁油、
処理温度 850℃
処理能力 60t/日
平成 28 年 6 月 岡山県許可取得

PCB 処理工程

サイズ：5m×3.7m×高さ 3.3m
重量：20t 程度まで (抜油後の重量)

連続加熱分離炉 → 排ガス (無害化) 処理

抜油、解体、運搬、処理、リサイクル までのトータルコーディネート

保管場所

- ビル等
- 倉庫
- 工場

現地作業

- 分解・解体作業
- 抜油作業

収集・運搬

1. 積込作業
2. ローリー車輸送
3. トラック輸送
4. 鉄道輸送

積替保管施設

- 美咲町・吉ヶ原
- 岡山市

処理工場

- 前処理
- 分解・解体作業
- 抜油作業

エコシステム秋田、エコシステム山陽、エコシステム小坂、光和精鉱